

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者

三谷、山本、大石、西

2. 山城／ルート

四国・国領川水系・西種子川（日本百名谷）

3. 交通手段

車

4. 行動記録

<入山日 2014年9月21日、下山日 同左>

◆9月20日（土） 晴れ

JR 三宮駅発 12:00---阪神高速---神戸淡路徳島自動車道---徳島自動車道---松山自動車道---新居浜 IC---スーパーマルナカ新居浜本店 15:00---林道駐車場 16:50 着---就寝

◆9月21日（日） 曇り→晴れ→曇り→雨

起床 4:00---林道駐車場---無名橋（樽ワ淵橋より1つ下流の橋）より入溪 6:20---樽ワ淵橋着 8:00---登山道---魔戸ノ滝 8:20（見物）---迷走---800m 四辻 10:20---入溪 10:30---左岸から滝を懸けた枝谷出合 11:10---飛翔の 20m滝 11:50---20mの美瀑 12:30---一方が釜を持つ2段の滝で2条の滝 12:50---長瀨 15mの 4m滝 13:40---1,050m地点遡行打切り 15:30---登山道---800m 四辻 16:50---魔戸ノ滝 17:20---樽ワ淵橋着 17:30---林道---（のり面崩壊工事場所）---林道駐車場 18:20 着---マイントピア別子温泉入浴---スーパーマルナカ新居浜本店---新居浜市市民の森 22:00---就寝 24:00（行動時間 12時間）

◆9月22日（月） 晴れ

起床 7:20---（無名橋）---マイントピア別子東平見物---新居浜 IC---松山自動車道---高松自動車道（途中善通寺 IC で下車（讃岐うどん））---神戸淡路徳島自動車道---帰神 13:30

5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

- ・当初入山予定地点の樽ワ淵橋手前で斜面崩壊により林道が工事のため通行止めであった。そのため、一つ手前の無名橋の近くの林道脇でテント泊とした。
- ・翌日（21日）は無名橋より入溪し、当初予定の入溪地点（樽ワ淵橋）まで1時間40分かかった。
- ・出発時間が予定より約50分遅れた。
- ・ガイドブックの670mで沢へ下降となっていたが、下降点が分からず、1時間30分ほど急斜面を登ったり下ったりで、迷ってしまった。インターネットの記録の急登を過ぎた標高約800mの四辻から下降した。

結果、合計約4時間のロスであった。

b) 事故に繋がりそうな要因（ヒヤリハット）が発生したか？

要因なし

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？

なし

6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

- ・今回の四国・国領川水系・西種子川は、谷川連峰・利根川水系・湯檜曾川・東黒沢～宝川・ナルミズ沢が雨予報のため、急きよ決めた代替の沢である。
- ・斜面崩壊による林道工事の工期は、平成 26 年 8 月 1 日から 12 月 25 日である。
「通り抜けできません」の表示とバリケードが設置されている。
林道より上部斜面が大きく崩壊していて、林道自体は崩壊から免れている。
- ・急登を過ぎた標高約 800m の四辻には魔戸ノ滝の方向を示す小さな標識がある。谷側に下る登山道がある。難なく入渓できた。
- ・西種子川は、釜を従えた滝が多い。見る物の目を楽しませてくれる。
- ・釜を持った滝を直登するには泳いで取り付く必要があるが、水は冷たいので高巻いた。
また、巨岩や岩間の滝をも多く、マントリングやスメアリングを効かしたボルダリングの要領が必要。
- ・西種子川は直登できる滝が少なく、高巻を強いられる。
- ・今回、林道工事のため時間的にロスがあるので、出発時には沢と登山道が比較的近い標高 1,100m 地点あたりで逆行中止することにした。実際は、登山道が最も接近した標高 1,050m 地点で中止とした。
- ・下山途中の登山道でマムシと遭遇。気づいたのが 1 人通過後であったので危うかった。
- ・新居浜のスーパーで買い物をしたが、鮮魚が豊富で値段が神戸の約半分であった。
21 日も夜買い物のため立寄ったところ、刺身類が半額（神戸の 1/4）になっていた（アワビも買占め）。結果、すき焼きと刺身の取り合わせとなってしまった。
- ・新居浜市市民の森では雨のため管理棟の玄関軒下でテント泊とさせていただいた。翌月曜日は休館日であり、朝はゆっくりできた。夜、痩せた野良犬が我々に纏わりついてきたので、Y さんが余ったうどん 4 玉を与えるとぺろりと食べた。
- ・帰路立寄った讃岐うどんの店「長田 in 香の香」は、以前三笠宮殿下長女がご来店されている。県外からの来客も多い。
- ・反省点として、林道工事情報や入渓地点の事前チェックを十分に行うべきであった。

以上

報告者氏名 三谷

2014 年 9 月 25 日